



▲動物愛護週間コーナーにぜひお越しください

「スポーツの秋」特集コーナー
身体を動かすのに気持ちの良い気候となりました。今月は「スポーツの秋特集コーナー」を作り、紹介しています。児童書は人気のサッカー・野球・バスケットボールなどの入門書、一般書はマラソンや水泳の基礎、無理なく続けられるスト



町生涯学習センター・図書室

☎ 096-234-2447 (内線331)

■開館時間 午前9時～午後5時

■休館日 毎週火曜
年末年始

■貸出冊数 1人5冊まで

■貸出期間 15日間



レッチや筋力トレーニング、トップアスリートの自叙伝、スポーツのための栄養学・レシピ集などを紹介しています。心と体の健康のため、自分のペースで好きなスポーツを楽しみましょう。ぜひ、ご利用ください。

■0歳児からのおはなし会について
図書室では、毎月第2木曜日に「0歳児からのおはなし会」を行っています。絵本の読み聞かせや、手袋人形、手遊びなど楽しい内容です。子育て中の保護者の皆さん、おじいちゃん、おばあちゃんも子どもたちとお気軽にご参加ください。

■日時
11月14日(木) 午前10時30分～

■会場
おはなしのへや(甲佐町生涯学習センター図書室内)

新着図書紹介

小説



地面師たち ファイナル・ベッツ
新庄 耕 著/集英社

海外のカジノで全財産を失った元Jリーガーの稲田は、大物地面師・ハリソン山中から北海道の不産詐欺計画に誘われる。一方、警視庁捜査二課のサクラは逃亡中のハリソン山中の行方を追ひ…。圧倒的なリアリティーで描くクライムノベル。



わたしの知る花
町田 そのこ 著/中央公論新社

犯罪者だと噂されていた老人が、孤独死した。部屋に残っていたのは、彼が手ずから咲かせた綺麗な「花」。生前、知り合っていた女子高生・安珠は、彼のことを調べるうちに、意外な過去を知る…。切なくも温かい、心に沁みる一冊。



フェイク・マッスル
日野 瑛太郎 著/講談社

たった3カ月のトレーニングで、人気アイドル大峰颯太がボディビル大会で上位入賞した。SNSでは「偽りの筋肉だ」と炎上してしまう。新人記者・松村はトレーニングジムに潜入取材を命じられ…。第70回江戸川乱歩賞受賞作品。

一般書



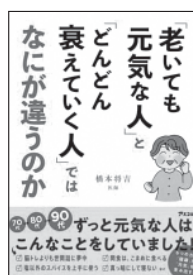
定年ランニング
中野ジェームズ修一 著/徳間書店

50代半ばから65歳以降のシニア世代が、「初めて走る」「久しぶりに走る」ための手引きとなる本。長く健康的に走り続けるために、走りだす前の準備からレースへの挑戦までを、カリスマ・フィジカルトレーナーがQ&A形式で解説。



深掘り! IT時事ニュース
三上 洋 著/技術評論社

SNSはなぜ炎上する? 生成AIってなにが問題? ビジネスがDXで変わる? 「なんだかよくわからない、ついていけない」と感じている人へ、テレビ番組で年間300本のニュースをサポートする著者が、IT時事ニュースを深掘り解説。



「老いても元気な人」と「どんどん衰えていく人」ではなにが違うのか 橋本将吉 著/アスコム
年をとって病気がちでいつもしんどそうな人と、毎日を元気に楽しそうに過ごす人。この「健康格差」はどうして起こるのか? 高齢者クリニックの院長が、残りの人生を健康に過ごせる体になる方法を基本からわかりやすく解説。

町公民館では、町民の生活にあった教育や学術および文化について各種講座等を行うことにより、より楽しく生きがいのある生活を送れるよう応援するために、公民館主催講座を実施しています。その一つに、地区の公民館や集会所に講師と共に出向き、様々な講座を実施する出前講座があります。

この出前講座のメニューの中に「文化財について」があります。これは町文化財保護委員が町の文化財や区の歴史などについて講義するものです。

町文化財保護委員は、町内文化財の調査や発見に基づき、文化財の保存や活用に尽力されておられます。

9月3日（火）には中山区公民館で、北里義友文化財保護委員が「中山歴史探訪」と題して区の歴史や文化財について話しました。講座には12名が参加し、参加者からは「あらためて地元の歴史や文化財についての話を聞いて、とてもためになった」との感想がありました。また、地元の方からお祭りや地蔵について講師

が教わる場面もあり、地元の文化財への理解が深まりました。

「文化財について」はこれまでに中横田区や仁田子区、船津区でも実施しております。要望があれば、町や区の文化財や歴史について、町文化財保護委員が伺いますので、出前講座を企画する際にはぜひご検討ください。



公民館出前講座の様子

お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096-234-2447（内線324）

人権、心豊かに暮らすために

互いの人権を尊重して差別のない社会を考える

令和6年度「上益城地区社会人権教育研究会」を開催

9月24日（火）御船町カルチャーセンターで「上益城地区社会人権教育研究会」が開催され、郡内の企業関係者・教職員・住民・行政職員などが参加しました。

集会では、益城町が「基調提案」を、嘉島町が「嘉島町の取組み」について特別報告を実施しました。その後「サラーマツトゝあなたの言葉で」が上映されました。この映画では、「SNS時代における外国人の人権」について描いています。主人公の珠美は、異なる文化や考え方を持つミランダとの交流を通して「違い」は「壁」ではなく自分自身を成長させ、地域を豊かにすることに気づいていきます。私たちを取りまく環境は常に変化しています。何気ない発言や行動の中には、人を傷つける「可能性」があることを常に心に留めて置いておく必要があります。

また、講演会では、講師の吉田文男さんが「来民開拓団の『真相』に学ぶ」と題し講演。来民開拓団と他の開

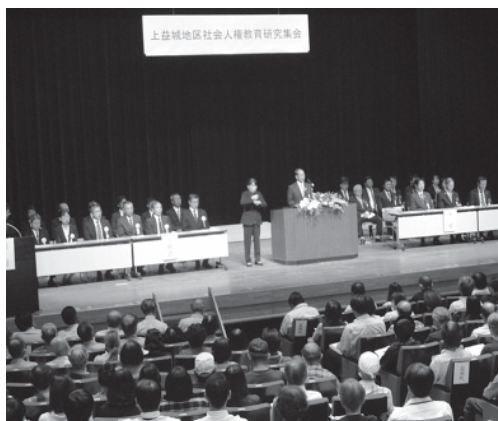
拓団の違いを話されました。来民開拓団の本質は部落差別であったこと、子どもたちを差別から守るためだったことなど詳しく説明されました。最後に「差別をなくすためにはどうすればいいか、差別される人が一人もいないようにするのはなく、差別する人が一人もいないようにすること」と話されました。

この研究会で、ひとり一人が互いの人権を尊重する態度や行動について改めて考える良い機会となりました。

●お問い合わせ先

町社会教育課

☎ 096-234-2447



▲部落差別問題について考える参加者ら